



むさしだい

学校だより2月号
平成28年1月29日
中野区立武蔵台小学校
校長 戸崎 晃

平成27年度目指す学校像 児童に 保護者に 地域に 教職員に
「喜びを生み出す学校をめざして」

—学校教育に関する保護者アンケート集計結果の分析— 副校長 橋本 誠之

本校には、学校教育目標の他に目指す学校像というものがあります。本題名がそれにあたります。これは今年度、校長先生が児童の姿、保護者や地域、教職員との語りから年度当初掲げられたものです。

ここには、教職員の力を結集した学校の組織としての力を高め、保護者・地域と理解し合い愛され、誇りにされ喜びを生み出す学校づくりを推進することで、児童のより良い成長を促す教育が実現するというものです。

私は本校の目指す学校像が大好きです。学校は子供たち同士、地域・保護者など多くの人々を結ぶ拠点であります。ただ、人と人をつなぎ合わせるだけではその役目を果たしたとは言えません。そのかわり合いの中で、喜びを生み出していくことが学校の使命だと考えているからです。中野区立武蔵台小学校が笑顔を生み出す一端を担う場所となりますよう努めてまいります。

さて、保護者の皆様には「平成27年度学校教育に関するアンケート」にご協力いただき大変ありがとうございました。

今年度のアンケート回収率は昨年度より9ポイントも上回る86%に達しました。

今年度の学校教育活動における内容や取り組む姿勢、迅速な対応等について評価いただき、保護者の皆様からの本校への関心及び期待の表れだと捉えております。

また、アンケート結果では、「十分」「まあ十分」を合計した肯定的な評価で、26項目中22項目で85%以上の評価をいただき

ました。日頃の教育活動に高い評価をいただけていると受け止めております。

今後も教職員一同、心ひとつに団結し、質の高い教育活動に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

——アンケート集計結果の分析——

アンケート集計結果で何よりもうれしかったことは、項目1「子供たちが学校生活を楽しく過ごしている」で96%の満足度が得られたことです。これは学校として最大の喜びであります。今後も100%を目指し取り組んでまいります。

【学力の向上】

項目2「一人一人の児童のよさや可能性を伸ばす教育の実践」や項目12「児童に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている」、また項目13「家庭学習を推進し、学習習慣を身に付けさせる取組」のいずれの項目も昨年度より平均8ポイントも上がりました。授業力向上に取り組んできた成果が少しずつ形として表れました。また項目23「オープンキャンパスや乗り入れ指導をとおして授業改善に努める」という項目でも同様の成果を得られました。

さらに児童理解を深め、一人一人に丁寧に対応し、基礎・基本の学力の定着を目指します。また、自分の考えをもち、友達と生き生きと交流し、互いに考えを深め合える授業をとおして思考力、表現力の伸長に努めてまいります。

【豊かな人間性の醸成】

項目16「たてわり班活動や交流授業など、児童同士がかかわる取組」では98%、項目17「道徳授業を核とし、全教育活動をとおして人権を尊重する態度の育成」では92%という高い評価をいただきました。どちらも核となる主任教師が校内でチームを編成し、組織的に取り組んできた成果です。自分の大切さとともに、他の人の大切を認められることを大事にし、人とかわりの中で豊かな人間性を育てていけるよう引き続き取り組んでまいります。

【体力・健康の保持増進】

項目18「なわとび月間やマラソン月間、外遊びの奨励など体力向上の取組」92%、項目19「食事の大切さや楽しさを教え、健康につながる食育の取組」94%とこれらの項目も高評価でした。

学級だよりでは、授業の中で子供たちが学習に意欲的に取り組んでいる姿や、運動会の行事に臨むための心構え、児童一人一人に学びの姿勢を問いかけている内容などをお伝えしています。他にも給食だよりや保健だよりなどを学校から配信しております。ぜひ、子供との会話のきっかけにもなりますのでご活用ください。

【保護者・地域との連携・協働】

項目6「学校は保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている」や項目7「学校公開の機会や学校だより、ホームページなどで学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている」でも90%以上の評価を受けました。前期アンケートでの低い評価数値を反省し、保護者・地域の皆様への真摯な対応に努めた姿をご理解いただけたと考えております。引き続き、保護者・地域の皆様との連携・協働を軸に取り組んでまいります。

【今後の課題】

項目21「一人一人の児童の成果や生活の様子をわかりやすく伝えていくこと」については80%でした。ホームページや職員室前掲示板のリニューアルに取り組み、児童の様子をお伝えしてきました。来年度は学級だよりの充実によって日頃から様子をお伝えし、個人面談等では個別にお子様の様子を伝えていきます。

また、小・中連携教育につきましても北中野学校区3校合同での取組状況についてお知らせしていきます。

今後も児童、保護者、地域、そして教職員に笑顔があふれるような喜びを生み出す学校を目指し、取り組んでまいります。

今回は前・後期保護者アンケートから特に質問が多かった内容を取り上げ回答をお伝えします。

- 3年になって1クラスの数がいきなり増えたことで、子供たちが戸惑っている様子が年度始めに見受けられました。もう一学級増やすことはできませんか。
- 公立学校での1学級の定数は、1年生は35人、2年生以上は40人と定められており、学校独自で変更することはできません。進級し学級数が減って1学級の人数が増えた場合、年度始めの数ヶ月は教職員で協力体制をつくり、学級づくりのための支援体制を作っていきます。
- 児童一人一人を理解するのは大変だと思いますが、悩みを抱えながら成長していますので、目を向けていただきたいと思います。いじめは先生のいないところで行われます。どういうことがいじめかをもっと具体的に教えてほしいと思います。
- 今年度は隔月で児童にアンケートや聞き取りを実施し、スクールカウンセラーや心の教育相談員、教員が互いに情報の共有化を図り、早期発見・早期解決に努めてまいりました。来年度は、毎月のアンケートや聞き取りを実施するなど、児童にとって相談しやすい環境づくりを推進してまいります。また、道徳教育を中心に思いやりや個性の伸長などを考えさせるとともに、「いじめをしない」について児童一人一人の理解を深めてまいります。

平成27年度 学校教育に関する保護者アンケート結果

(平成27年12月実施)

	回収率 昨年度(77)% → 今年度(86)%	■ A十分 □ Bまあ十分 ▨ Cやや不十分 ■ D不十分				H27 A+B	H26 A+B	昨年度 との差	
		A十分	Bまあ十分	Cやや不十分	D不十分				
1	お子様は、学校生活を楽しく過ごしている。	55	41	3		96	95	1	
2	学校は、一人ひとりの児童のよさや可能性を伸ばす教育活動を行っている。	18	66	13	3	85	76	9	
3	学校は、環境問題にかかわる教育活動を行っている。	20	67	12	1	88	79	9	
4	学校は、思いやりや優しい心を育てている。	24	64	11	1	87	83	4	
5	学校は、児童に自他の生命を大切にすることを育てている。	21	64	13	1	85	82	3	
6	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。	30	60	8	8	90	82	8	
7	学校は、学校公開の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。	50	44	5	1	95	88	7	
8	教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	54	42	4	1	96	92	4	
9	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている。	22	55	18	5	77	57	20	
10	学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	29	57	11	3	87	78	9	
11	学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実を努めている。	38	55	5	1	94	91	3	
12	学校は、児童に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	29	60	10	1	90	83	7	
13	学校は、家庭と連携して家庭学習を推進し、学習習慣を身に付ける取組を行っている。	34	59	6	1	93	82	11	
14	学校は、読書旬間や調べ学習など、学校図書館を活用した取組を行っている。	38	55	7	1	93	今年度 新設項目		
15	学校は、いじめ未然防止に取組み、組織的に対応している。	21	58	18	3	79			
16	学校は、たてわり班活動や交流授業など、児童同士がかかわる取組を行っている。	44	54	2	0	98			
17	学校は、道徳授業を核とし、全教育活動を通して人権を尊重する態度を育んでいる。	30	62	7	1	92			
18	学校は、なわとび月間やマラソン月間、外遊びの奨励など体力向上の取組を行っている。	41	50	7	1	92			
19	学校は、食事の大切さや楽しさを教え、健康につながる食育に取り組んでいる。	41	53	5	2	94			
20	学校は、セーフティ教室・交通安全教室・安全指導など、児童の安全を守るための取組を行っている。	34	62	4	0	96			
21	学校は、一人一人の児童の学習成果や生活の様子をわかりやすく伝えている。	26	55	17	2	81		87	-6
22	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、児童に進学への安心感や、中学校への憧れの気持ちをもたせている。	34	58	18	0	92		75	17
23	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、授業改善に努め、児童の学力向上、体力向上、心の教育の充実を図っている。	26	65	8	2	91		77	14
24	学校は、乗り入れ指導等を通して、児童に専門性を活かした授業に触れさせ、学習意欲の向上を図っている。	22	62	13	2	85	今年度 新設項目		
25	学校は、小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。	17	56	23	4	73		77	-4
26	学校は、幼稚園児・保育園児との交流などを通して、児童に小学生になった自覚をもたせている。	26	60	12	2	86		82	4

6年生に向けて～決意を漢字一文字に～

もうすぐ6年生になる5年生。残りの日々をどう過ごしていくか、自分の決意を漢字一文字に込め、選んだ理由と共に作文に書きました。ここでいくつか紹介します。来年度、最高のスタートが切れるように、残りの5年生の日々を大切に過ごします！

考

僕が選んだ漢字は「考」です。理由は、6年生になると委員会などで前に出ることも多くなり、他学年にもわかりやすく説明できるように考えたいからです。

もう1つ理由があります。それは、いろいろな物事を計画を立ててやることです。考えてやらないと、6年生はやることがすごく多いので、それぞれ全部に手が回らないと思います。なので、計画性のある6年生になりたいです。

(5年1組 島村 颯生)

最

私の決意の一文字は「最」です。わたしがこの字を選んだ理由は、6年生は学校の中で最高学年として低学年が危ないことをしているときに、きちんと注意してあげたり、当たり前のことから取り組んだりしていきたいからです。現在、代表委員会を6年生と引っ張っていたり、苦手な人の前で話すことに挑戦したりして、できるようになってきました。6年生と一緒に過ごせる残り2か月を大切に、さらに低学年のお手本になれるように頑張りたいです。

(5年1組 山崎 琴葉)

全

僕の決意の一文字は「全」です。何事にも全力で取り組みたいからこの漢字にしました。勉強でも全力でやり、生活面でも全力でやりたいです。6年生になると、学校を引っ張っていかなくてははいけません。何気ないあいさつなどの基本的なことを全力でやり、1年生や2年生、その他の学年の手本になりたいです。僕はバスケットボールを習っています。そういうことにも全力で取り組みたいです。失敗するのは嫌ですが、全力でやって失敗したら、僕は後悔しません。

(5年2組 野原 和也)

超

私が選んだ漢字は「超」です。理由は色々あるけれど、今までの6年生たちを超える。そして、自分自身も超えたいからです。もちろん、今のままで超えられるとは思いません。後2か月で私は6年生になります。6年生になったら、今よりもやるが増えます。その時に備えて、今の自分を超えたいです。そのためには、人を尊敬し学ばなければならないと思います。人を超え、自分を超えられる人間になって新学期を迎えたいです。

(5年2組 市川 凜)

協

僕が選んだ決意の一文字は「協力」の「協」です。理由は、何事にも思いやりをもって自分から進んで行動したいからです。時には、助けってもらって協力することもあると思いますが、力を合わせて6年生に向かって成長したいと思います。この意識は6年生になっても続けようと考えています。理由は、最高学年になると下級生にいろいろなことを教えなくてはならないからです。そんなときでも、協力してやっていきます。

(5年3組 松尾 佳亮)

尊

私が選んだ漢字は「尊」です。6年生になったら、他学年から頼られることも多いと思います。そんなとき、「この人なら大丈夫だ。」と思ってもらえるような人になりたいと思い、この漢字を選びました。そんな6年生になるには、困っている人を見かけたら、声をかけてあげるのが第一歩だと思います。そのほかにも、下級生に「さすが6年生！」と思ってもらえるような積極的な行動を取りたいです。

(5年3組 瀧澤 結)



武蔵台小学校吹奏楽団



吹奏楽団顧問 澤田梨奈

武蔵台小学校吹奏楽団は、創立41年目を迎え、現在4年生から6年生まで36名で活動をしています。

4月から新体制で活動を開始し、8月8日（土）に行われる予選会に向けて夏休み前から練習を重ねた結果、銀賞に輝き、9月12日（土）に行われる上位6校による本大会「東京都吹奏楽コンクール」に選出されました。予選会同様コンクールでは「ロスロイ」を演奏し、緊張しながらも堂々とした演奏で本大会でも銀賞を受賞しました。

コンクールを終えてからは、かみさぎ地区まつりに出演しました。上鷺宮区民活動センターのテニスコートで本吹奏楽団や、上鷺宮小学校によるソーラン節、児童館のダンスチームやお囃子、北中野中学校吹奏楽部の演奏などがあり、地域のお子さんからお年寄りの方までたくさんの方が集っていただきました。

12月19日には、毎年恒例の「ウィンターコンサート」を本校体育館で開催しました。本校の吹奏楽団の他に、本校からはPTAコーラス、OBバンド、教職員、キッズプラザが出演し、そのほかには北中野中学校吹奏楽部、武蔵丘高等学校吹奏楽部、地域のバンドが出演しました。小中高三校合同演奏ではコンサート当日が公開日でもあった「スターウォーズ」を演奏し、大盛況の中終わることができました。

今後は、2月28日（日）東京都小学校管楽器演奏会、3月13日（日）中野区医師会主催の東日本復興支援コンサート、そして3月26日（土）には定期演奏会を予定しています。

これからも活動を支えてくださっている方々へ感謝の気持ちを忘れずに団員全員で精一杯練習に励み、聴く人に感動を与えられる演奏ができるようにします。



わくわくマラソン

「寒さに負けない丈夫な体をつくるとともに、体力の増進をはかること」「自分の力を考え、目標を決めて練習しようとする態度を培う」ことを目標にマラソン（5分間走）に取り組みます。今年度は毎週火、木曜日の20分休みに全校児童が取り組みます。今年に入り、1月下旬のは大雪が降ったため、わくわくマラソンの期間を1週間延期し、2月18（木）まで取り組むことになりました。体調が悪く、参加できない場合は見学となりますので、連絡帳等で担任までお知らせください。



わくわくマラソンは、流れる音楽に合わせてリズムよく走ります。低学年は1周約130m、中学年は1周約170m、高学年は1周約230mと学年ごとに走る距離が異なります。

子供たちには自分のペースを守り、立ち止まったり歩いてしまったりすることなく、5分間を走りきることが目標です。

ぜひ、この期間は子供たち一人一人が自分に挑戦し、体力向上につながられるようご家庭でも話題にさせていただいたら、子供たちの励みとなりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【2月の主な行事予定】 〈生活目標 寒さに負けず元気にすごそう〉

1	月	安全指導朝会 委員会活動
2	火	
3	水	
4	木	たてわり活動（昼）
5	金	午前授業
6	土	
7	日	
8	月	午前授業
9	火	
10	水	午前授業 音楽朝会（6年）
11	木	建国記念の日
12	金	
13	土	学校公開日 2分の1成人式（4年） マラソン記録会（5・6年）
14	日	
15	月	全校朝会 クラブ活動（高校生との交流） クラブ見学（3年）

16	火	
17	水	午前授業 開校記念日 開校記念集会 2年1組研究授業（5校時）
18	木	たてわり活動（昼）わくわくマラソン終
19	金	1・2年午前授業 新1年生保護者会
20	土	
21	日	
22	月	小学校見学・交流会（かみさぎ幼稚園） クラブ活動
23	火	5時間授業 4～6年保護者会 15:00 小学校見学・交流会（西鷺宮保育園）
24	水	
25	木	音楽朝会（吹奏楽）
26	金	1～3年保護者会 15:00
27	土	
28	日	東京都小学校管楽器演奏会 （練馬文化センター13:50）
29	月	6年生を送る会 たてわり給食・遊び クラブ活動

※ 今月の避難訓練は予告なしのため記載しておりません。